

青嶋ホール室内楽シリーズ

篠崎功子と仲間たち

シューベルト

ピアノ三重奏曲第1番変ロ長調
作品99 D898

チャイコフスキー

ピアノ三重奏曲イ短調
作品50「偉大な芸術家の思い出に」

2024 **12/7** (土)

14:30 開場 | 15:00 開演

[全席自由] 5,000円

主催 / 青嶋ホール

後援 / 青嶋ホールサロンコンサートを楽しむ会

チケット取扱い / 青嶋ホール 054-253-6480

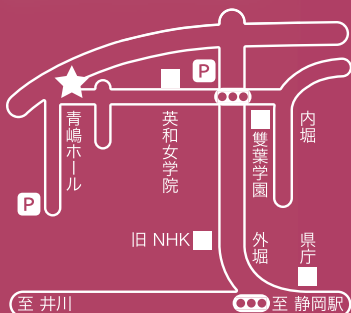
蔦屋書店 静岡本店プレイガイド 054-274-2666

すみやグッディ 静岡本店 054-253-6222

静岡・青嶋ホール

静岡市葵区西草深町16-3

054-253-6480



JR静岡駅北口バスターミナル10番
乗り場より県立総合病院行きに乗り、
英和女学院前下車徒歩2分。
ホールには駐車場がありません。
(浅間通り近くのコインパーキングを
ご利用ください。)

Piano
鷺宮美幸
MIYUKI WASHIMIYA

Cello
青嶋直樹
NAOKI AOSHIMA

Violin
篠崎功子
ISAKO SHINOZAKI

Violin 篠崎 功子 Isako Shinozaki



「ヴァイオリン早教育」で著名な父、篠崎弘嗣に幼少の頃からヴァイオリンを学び、4歳で初舞台。14歳で第一回ソロ・リサイタルを日比谷公会堂で開き、注目を集める。この頃から、ラロ、メンデルスゾーン、ベートーヴェン、ブラームス、チャイコフスキー等の協奏曲を多くのオーケストラと共演。東京藝術大学付属音楽高等学校にて、兎束龍夫氏に師事。桐朋学園大学音楽学部にて、ジャンヌ・イスナール、斎藤英雄の両氏に師事。1964年、NHK・毎日新聞社主催、第33回日本音楽コンクール第一位、大賞並びにレウカディア賞を受賞。同年、海外派遣コンクールで第三位。1966年、イタリアジェノヴァで開かれるパガニーニ国際コンクールで第三位。1968年、フランスに留学、旧師ジャンヌ・イスナール氏に学ぶ。1974年、ロドリゴのヴァイオリン協奏曲を日本初演、ロドリゴの招きで、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラフェスティバルに参加。1977年から、演奏家7名、作曲家7名の協業による「アンサンブル・ヴァン・ドリアン」の一員として、多くの現代作品の紹介に努める。1983年、第一回中島健蔵賞を受賞。以降、ソリストとして、多くのオーケストラと共演する他、室内楽、現代曲の演奏にも積極的に取り組み、池辺晋一郎プロデュースの「Sound Splash」に出演するなど、法人作品の初演も数多く、中国、東南アジア、アメリカ、南米、スペイン、ドイツ、オーストリア等でも演奏を行っている。石井眞木、山田泉、池辺晋一郎、一柳慧などの作品演奏のCDをリリース。また、「新しいヴァイオリン教本」「若い人のヴァイオリン教本」「学生協奏曲」など、教則本のCDも高い評価を得ている。

桐朋学園大学音楽学部特命教授 / 日本弦楽指導者協会理事 / 元東京音楽大学客員教授

Cello 青嶋 直樹 Naoki Aoshima

桐朋学園大学チェロ専攻卒業。井上頼豊、徳永兼一郎、堤剛の各氏に師事し、アルト・ノラス氏、エルッキ・ラウティオ氏に特別レッスンを受ける。漆原朝子、石川静、岡山潔、若林顕、荘村清志、フェデリコ・アゴ스티ーニの各氏など著名な演奏家との共演や、ラジオ、テレビ、CM出演など幅広い活動を展開。1989年にはハイドンのチェロ協奏曲第4番を邦人初演。1990年の難聴児のためのコンサートはNHKで全国放映され、大きな反響を呼ぶ。1995年には静岡音楽館AOI開館記念コンサート、1996年には田沢湖音楽祭で2夜にわたるリサイタルを開催。箏曲家・久本成子、美術家・柳沢紀子、詩人・吉増剛造の各氏とのコラボレーションも高く評価されている他、ロックや現代音楽を含む多様な音楽表現に携わるなど、ジャンルを超えた活動にも積極的に取り組んでいる。2004年には篠崎史紀氏、清水和音氏とのトリオが好評を博す。2005年から2017年までシアターオーケストラトーキョーのソロ首席奏者を務め、現在も全国各地のオーケストラで客演首席奏者として活躍しながら、ソリストとして多くのリサイタルに出演、協奏曲も多数演奏している。日本弦楽指導者協会の講師として、後進の育成や音楽人口の拡大にも力を注いでいる。

一般社団法人日本弦楽指導者協会副理事長・静岡県支部支部長 / 静岡県学生音楽コンクール弦楽部門審査員長 / 静岡室内楽協会理事 / 平成24年度、静岡市芸術文化奨励賞受賞



Piano 鷺宮 美幸 Miyuki Washimiya

7歳よりピアノ、作曲、バイオリンを始める。その後、桐朋学園大学ピアノ科在学中、フランス音楽会の第一人者、H.ピュイグ＝ロジェ氏の推薦で、パリに留学。帰国後、同大学を卒業。第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、UFAM国際コンクール室内楽部門第2位、日本室内楽コンクール第3位、国際ピアノデュオ・コンクール2台4手部門第2位(日本人最高位)など、多くのコンクールに入賞。Kris Foundationに度々招聘され、シンガポールでソロリサイタル、メトロポリタン・フェスティバル・オーケストラ、指揮Chan Tze Lawと協奏曲を共演。また、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のクリストフ・ハルトマン、イ・ムジチ合奏団のマッシモ・パリス、マクス・ラリュエ、ミッシェル・マイスキーなど、国内外の著名なソリストらとも共演している。NHK・BS「びあのピアノ」、NHK・FM「名曲リサイタル」にソロで、また室内楽、伴奏でも度々出演。『ピアノ&ピアニスト』(音楽之友社2018年1月発行)の「日本の名ピアニストたち」にも選ばれた。これまでにピアノを寺西明子、村手静子、T.パラスキヴェスコ、高木茉莉、松浪佳子の各氏に、室内楽をJ.M.ダマーズ、三善晃、H.ピュイグ＝ロジェ、クリスチャン、イヴァルディの各氏に、チェンバロを遠藤陽子氏に師事。現在、ソリスト、室内楽奏者、オメガ・ピアノトリオのメンバーとして活躍している。これまでに、ソロ・アルバム「記憶の風景」(コジマ録音)、「ワッシー・ファンタジア」(パステリエル)、「鷺宮美幸・ピアノリサイタル」(コジマ録音)をリリース。このほかマッシモ・パリス(Vla.)との共演による「ショスタコーヴィチ」(ダ・ヴィンチ・クラシック)など、多くのCDをリリースし、いずれも高い評価を得ている。

<http://www.miyuki-washimiya.com/>

